

石高神社社報

第三十二号

発行日 平成二十六年十二月一日
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆
発行所 岡山市中区円山八五三
電話 〇八六―二七七―九〇〇三

隨身門完成

隨身門本体の修復工事が十月にはほぼ終了しました。屋根瓦がすべて新しくなったので、輝くばかりに見映えがするようになりました。ひとえに氏子の皆様方のお気持ちの賜物であり、感謝申し上げます。

使える木は使いましたが、シロアリが入っていた角柱と屋根周りはすべて新しい木を使いました。角柱は松材でしたが、シロアリの食害に強い桧材に替えました。屋根瓦は銅線で止めてあり、四隅と端は土を載せて固定しています。賽銭箱だけは、つくりが変わりました。以前は格子窓の下に穴があつて落ちるようになっていましたが、今度は外に小さい箱を取り付けました。



江戸時代後期の地域の文化遺産のひとつとして後世に残すことができ、喜びに耐えません。なお、隨身像は、来

年春に修復完了予定です。隨身像の正確な支払額が未定ですので、収支報告は次号の社報でさせていただきます。ご了承ください。

追加工事について

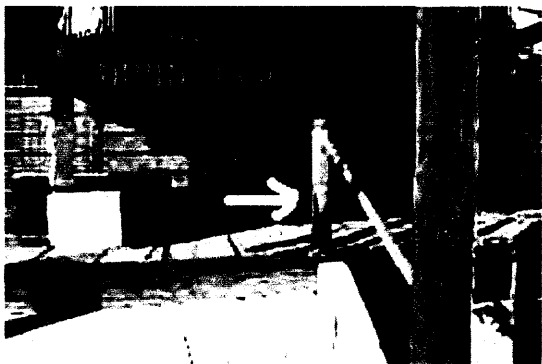
このたび、隨身門修復工事以外にも、境内の木の伐採と拝殿の手すり設置を行いました。また、追加工事として隨身門の土間工事、排水工事および拝殿屋根応急修理を注しました。追加工事には、合わせて約八十二万円の費用が必要になります。今回の寄付金だけでは、数十万円不足することになります。今回の寄付金だけでは、数十万円不足するように考えています。

木の伐採

本殿屋根に触れていたカシの枝を、足場を組んで切りました。また、台風で倒れて建物に当たると困りますので、境内のカシとヒノキの先を切りました。

拝殿に手すり設置

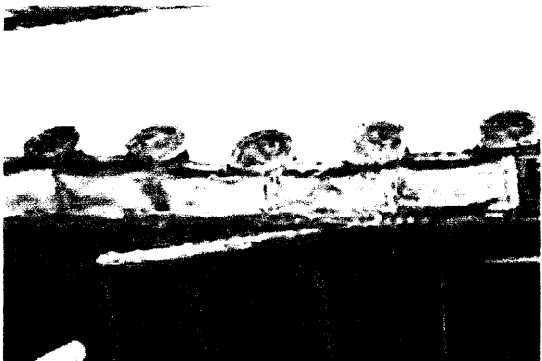
高齢化社会に対応して、東側だけです、拝殿前の石段部分に木の手すりを設置しました。



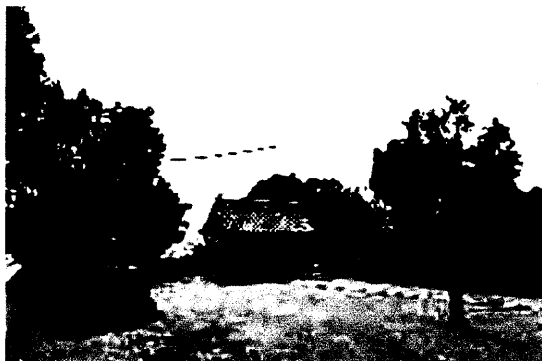
設置した手すり



木の枝がかからなくなった本殿



壊れた垂木



先を切ったヒノキやカシ

電気工事

社務所横の電柱から隨身門に電線を引つ張っていましたが、地下に埋め込みました。

隨身門土間工事

隨身門の土間は三和土(たたき)できています。凸凹して痛んでいるので、従来通りの工法で修繕することになりました。

排水溝を設置

最近のゲリラ雨が降ると、隨身門周辺に水が流れ込んできます。そこで、排水が東西にうまく流れるように排水溝を設置することにしました。また、雨が降るたびに本殿裏の駐車場から自動車参道下の溝まで土砂が流れてしまうので困っていましたが、ここにも排水溝を設置して、下まです砂が流出するのを防ぐようにします。

拝殿屋根応急修理

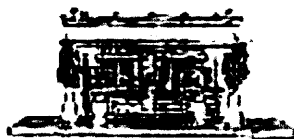
西側の拝殿屋根の垂木の一部が腐って折れているのが見つかりました。よく見ると、東西の屋根瓦もずり落ちて来ており、四、五年間ももたないということでしたので、応急処置をすることにしました。

土塀修理

土塀を修理してあまり時がたたないうちに一部崩壊していました。中に空洞があり、工事にも問題があるということ、いつになるかわかりませんが、修理してくれることになっています。

Q & A ④ 御神札の向きは？

御神札をおまつりする場所は、家族がいつも集まることができる場所であることが大切です。まつる方は、御神札から見て南向きか、東向きが最も良いとされています。そうした場所がない場合には、方角にこだわらず、清浄な高い所におまつりすれば結構です。あまり神経質になる必要はありません。



正月行事のご案内

◎歳旦祭および初詣

一月一日午前零時より歳旦祭、その後一時ごろまで新年の家内安全祈禱を行います。また、三が日は午前九時ごろから夕方五時ごろまで新年の家内安全祈禱や厄払いを行っています。ご家族お揃いで初詣をお待ちしています。

◎どんど焼きおよび古神札焼却祭

一月十四日以降で最初の土曜または日曜に、境内で行なっています。平成二十七年は一月十七日（土）に行う予定です。正月のお飾りのほか古い御神札の焼却も行います。なお、ビニール、プラスチック、金属類はなるべくくはずしてご持参ください。当日は、はずす作業をした後に焼却します。また、例年どおりせんざいを用意する予定です。

◎厄払い

その年の厄年、祝いに当たる方が神様に祓っていただく慣わしです。当社では、二月一日が「厄払いの日」になっていますが、一般には元日から節分の日までにお参りするものとされていますので、その期間にお参りください。平成二十七年のおもな厄年と祝い年を一覧表にしましたので参考にしてください。祝い年は男女ともに同じです。また、特に男四十二歳と女三十三歳は大厄とされ、前後には前厄と後厄があります。

平成27年の どんどまつり

1月17日（土）

午前10時から

11時半頃まで

せんざいの接待
があります。

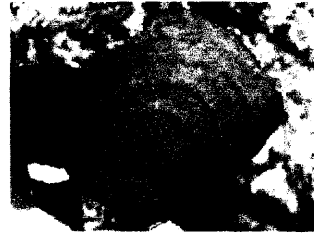
平成27年 厄年 祝年

数え年	生まれ年
女 19 歳	平成 9 年生
男 25 歳	平成 3 年生
女 33 歳	昭和 58 年生
男 42 歳	昭和 49 年生
還暦祝	昭和 30 年生
古希祝	昭和 21 年生
喜寿祝	昭和 14 年生
傘寿祝	昭和 11 年生
米寿祝	昭和 3 年生
卒寿祝	大正 15 年生
白寿祝	大正 6 年生

境内の生物 ⑦

フジ

宮山の各所に生えており、特に南東部の道路脇ものは、春に紫色のきれいな花を近くで見せてくれます。秋には、さやの中に二、三個の豆ができて、カラスなどの餌になっています。蔓は左巻き（左ネジのように巻きながら伸びる）で他の木に巻きついて大きくなるため、他の木を締めつけて害になります。つるに着目して「かずら」と言うこともあります。幹の成長は、同心円状には大きくならず、一部だけが年輪を増やして大きくなって、幹は偏平になっています。



ホームページアドレス変更

今まで使用していたホームページサービスがまもなく終了してまいります。そこで、旧アドレスでの公開を中止し、十一月より新しいアドレスで公開することになりました。容量が増えましたので、内容をより一層充実させていただきますと考えています。新アドレスは次の通りです。

<http://ishitakajinjya.web.fc2.com/>

お参りはまず氏神様へ

石高神社の場所と駐車場

藤原、赤田、清水、高屋、関、沢田、西の一部を除く湊、円山、山崎、福泊西部にお住まいの方々は石高神社が氏神様になります。当社の南側と西側には、石段を上がる参道があります。自動車でお参りの場合は、宮山の東側を山に沿って進むと北側から山に上がる参道があります。少し上った左側の空き地または右にもう少し上がった本殿の裏に駐車するのが便利です。さらに南に進むことができますが、行き止まりになります。なお、宮山の東北のカーブは見通しが悪いのでお気をつけください。

